

平成 2 8 年度

事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	平成28年度総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	法人事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	理事会・監事会等開催状況・・・・・・・・	3
4	会議・委員会開催状況・・・・・・・・・・	4
5	職員状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6	職員研修等状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	苦情受付と対応・・・・・・・・・・・・・・	8
8	特別養護老人ホームこぶし荘・・・・・・・・	9
	(1) 介護係	
	(2) 医務係	
	(3) 給食係	
	(4) 総務係、事務人事係	
	(5) 業務係	
9	こぶし荘ショートステイ・・・・・・・・・・	20
10	こぶし荘デイサービスセンター・・・・・・・・	24
11	こぶし荘在宅介護支援センター・・・・・・・・	28
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家・・・・・・・・	30

1. 平成28年度総括

平成28年度は、平成27年度の法人内組織改編（係制の導入）を踏まえ、組織体制の更なる充実・強化により、事業計画の達成を図るべく取り組んだ。

また、社会福祉法人制度改革に伴い、平成29年度から必置となった評議員会の設置準備と定款変更を行い、法人組織の充実とガバナンス強化に努めた。

人材確保と職員の資質向上については、作業療法士の新規採用による機能訓練指導員の専任配置、正規職員登用制度による正規職員への転換、「介護アシスタント養成実践研修」の受け入れと採用、入職時オリエンテーションの充実、処遇改善加算を活用した処遇の改善、更には内外の研修や地域貢献活動の推進に引き続き取り組んだ。

感染症予防対策については、入居者のみならず職員・家族においてもマニュアルに基づいた実践により、昨年度に引き続き蔓延することなく運営できた。

また、今年度から利用者の体調を考慮し、「こぶし荘夏祭り」を「こぶし荘秋祭り」として10月に開催し、企画にあたっては、実行委員会を組織し地域の皆様やボランティアの皆様のご協力のもと、職員一丸となって取り組んだ。ご利用者は、余興や様々なアトラクションをご家族と一緒に楽しまれ、大変好評をいただいた。

介護保険を取り巻く状況は、平成27年度の介護保険法改定による介護報酬の引き下げや、社会的な労働者不足により職員確保が困難であるなど、厳しい状況が継続した。

また、入所指針の改定により、特養入所は基本、要介護3以上となり、入居者の重度化・高齢化がさらに進んでいる。

このような影響もあり、今年度、母体となる当特養施設においては、入院による空きベッド数516日（前年度比147日増）、死亡及び長期入院による退所者27人（前年度比8人増）、次期入所までの空きベッド218日（前年度比49日増）、特養平均利用率は97.5%（前年度98.2%）と、前年度よりさらに厳しい結果となった。

平成30年度は、介護保険法改定に加え、介護報酬・診療報酬の同時改定の年となり、法人運営において一層厳しい状況が予想される。更に、国の政策は、包括支援システム構築に向け、病院から施設、施設から在宅完結の方向に進むが、在宅も施設同様、職員不足等で事業を縮小するなど、サービス不足等の問題がでている。また、特養待機者は依然減少せず、当施設の待機者は約80名で推移し、南陽市全体では約150名と公表されている。

当法人は、このような厳しい状況の中、社会福祉法の理念に基づく社会福祉法人として更なる福祉の充実に努めるとともに、施設整備構想を継続し、待機者解消と経営安定に向けた取り組みにより、より良いケアの実践に職員一丸となり取り組んでいく。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会
- (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地
- (3) 設立年月日 昭和63年5月17日
- (4) 法人事業

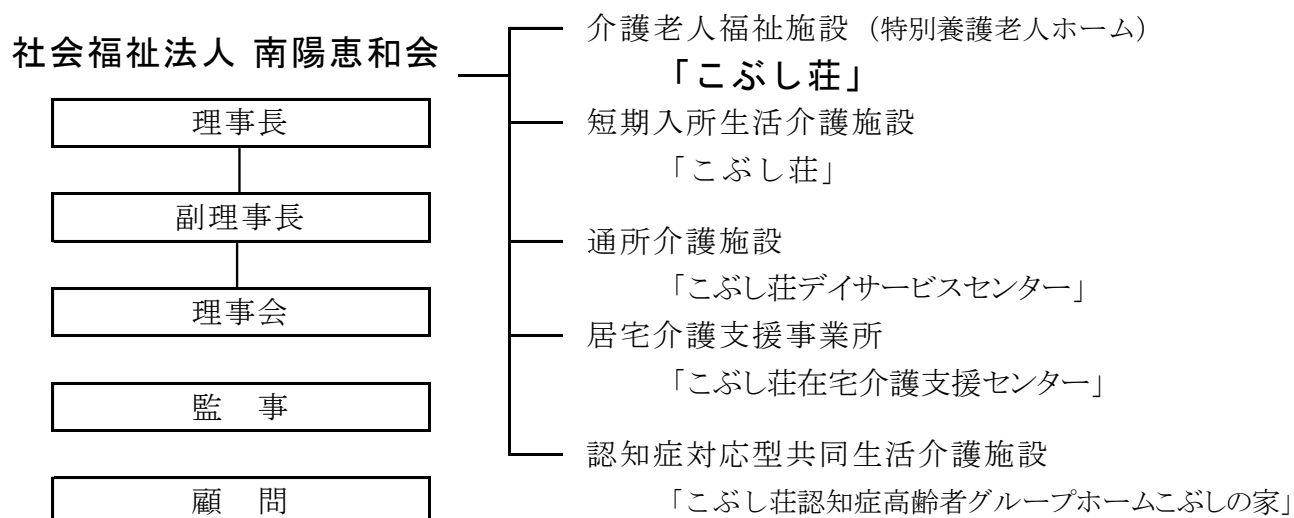
第一種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	80名	平成元年4月1日 (平成5年4月1日)

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	8名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

(5) 組織図



3. 理事会・監事会等開催状況

(1) 役員 理事 8名 (定数 8名)
 監事 2名 (定数 2名)
 顧問 1名 (定数 1名)

(2) 評議員選任委員 3名 (定数 3名)

(3) 理事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
平成 28 年 5 月 27 日	平成 28 年度 第 1 回定例理事会 ・ 事業報告案、決算報告書案並びに監査報告について 他	8/8	1/2	1
平成 28 年 9 月 27 日	平成 28 年度 第 2 回定例理事会 ・ 評議員及び評議員選任委員について 他	6/8	2/2	1
平成 28 年 12 月 13 日	平成 28 年度 第 3 回定例理事会 ・ 定款変更について 他	8/8	2/2	0
平成 29 年 3 月 3 日	平成 28 年度 第 4 回臨時理事会 ・ 南陽やすらぎ荘の民間委託について	6/8	2/2	0
平成 29 年 3 月 28 日	平成 28 年度 第 5 回定例理事会 ・ 平成 29 年度事業計画案、当初予算案について 他	8/8	2/2	1

(4) 監事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数
		監事
平成 28 年 5 月 23 日	平成 28 年度 第 1 回定例監事会（業務執行監査） ・ 指摘事項： 特になし	2/2

(5) 評議員選任委員会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数	
		理事長	委員
平成 29 年 2 月 15 日	評議員選任委員会 ・ 評議員の選任について（平成 29 年度任期）	1	3/3

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	6回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	6回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	6回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	6回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	6回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	6回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	1回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	12回	ショート利用者のリスク軽減
看護介護協働委員会	1回	喀痰吸引制度の普及啓蒙

(3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
日課検討委員会	3回	夕食提供時間の検討
秋祭り実行委員会	7回	こぶし荘秋祭りの企画実施
施設整備検討委員会	5回	施設整備に係る細部の検討

(4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
平成28年4月26日	45名	平成28年度事業計画について

5. 職員状況

(1) 職種別

平成 29 年 3 月 31 日現在

職 名	事 業 所 別					H28 年度 採用者数	H28 年度 退職者数
	こぶし荘	デイ	支援	グループ	計		
施 設 長	1【1】	1【1】	1【1】	1【1】	4【4】	0	0
事 務 職	2【2】	2【2】	2【2】	2【2】	8【8】	0	0
管 理 者		1【1】	1【1】	1【1】	3【3】	1【1】	1【1】
生 活 相 談 員	1	3【3】			4【3】	0	0
介護支援専門員	2【2】		2【1】	1【1】	5【4】	1【1】	1【1】
介 護 職 員	36【2】(16)	7【2】(5)		6(3)	49【4】(24)	10(9)	10(9)
看 護 職 員	6【5】	5【5】		5【5】	16【15】	0	1
機能訓練指導員	1				1	1	0
管 理 栄 養 士	2【2】	2【2】			4【4】	0	0
調 理 員	7【7】(3)	7【7】(3)			14【14】(6)	0	1
業 務 員	2【1】(1)	1【1】(1)			3【2】(2)	0	0
洗 濯 員	5(5)				5(5)	0	0
清 掃 員	3(3)				3(3)	2(2)	0
夜 警 員	4【4】(4)			4【4】(4)	8【8】(8)	1(1)	1(1)
医 師 (嘱託)	2(2)				2(2)	0	0
合 計	74【26】 (34)	29【24】 (9)	6【5】	20【14】 (7)	129【69】 (50)	16【2】 (12)	15【2】 (10)
実 数	72	8	2	7	89	12	11

※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、【 】内は兼務

※ 採用・退職者数には人事異動を含む

(2) 年齢別

(平均／48.4 歳)

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～
男 性	0	4	0	5	9	5
女 性	0	1	12	16	24	11
計	0	5	12	21	33	16

(3) 在職別

(平均／12.9 年)

区分	0～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21～25 年	26～30 年
男 性	8	2	2	3	3	5
女 性	20	8	11	2	11	12
計	28	10	13	5	14	17

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研 修 内 容	参加者数
H28. 4. 15	認知症介護の基本的理解 (G H 佐々木管理者)	35 名
H28. 4. 20	認知症介護の基本的理解 (G H 佐々木管理者)	18 名
H28. 5. 13	ストレスチェック制度の理解 (介護労働安定センター)	15 名
H28. 6. 9	感染症セミナー (東京サラヤ 服部氏)	19 名
H28. 7. 29	高齢者介護における感染対策 (公立置賜総合病院 横澤看護師)	20 名
H28. 8. 10	禁煙セミナー (トータルヘルスクリニック 川合医院長)	15 名
H28. 9. 26	転倒防止について (公立置賜総合病院 転倒・転落対策チーム)	34 名
H28. 10. 4	ノロウィルスとインフルエンザ対策 (東京サラヤ 服部氏)	20 名
H28. 11. 28	死生観を考える・・・ (曹洞宗 松林寺 杉沼副住職)	24 名

(2) 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
平成 28 年 4 月	置賜地区施設長協議会	施設長
平成 28 年 5 月	山形県老人福祉施設協議会総会・研修会	施設長
	高齢者福祉種別新任職員研修	介護職
	特養部会 栄養士・調理員合同研修	栄養士
	特養部会 生活相談員総会・研修会	生活相談員
平成 28 年 6 月	特養部会 前期看護職員研修会	看護師
	特養部会 前期介護職員研修会	施設長・介護職
	高齢者福祉種別新任職員研修	介護職
	山形県経営者協議会総会・研修会	事務・給食
	喀痰吸引研修 講師派遣	看護師
	雇用管理セミナー (6 月～8 月)	施設長
	デイ部会 生活相談員研究会	デイ相談員
	高齢者福祉種別新任職員研修 第 2 期	デイ介護職
平成 28 年 7 月	特養部会 機能訓練指導員研究会	機能訓練指導員
	安全運転管理者法定講習	業務員
	置賜地区 生活相談員研修	生活相談員
	栄養士・調理担当研修	調理師
	社会福祉法人制度改革セミナー	事務職
	集団指導	多職種 5 名
	置賜地区防災ネットワーク	業務員
	佐藤病院認知症疾患医療センター研修	介護支援専門員
	前期デイサービスセンター職員研修会	デイ介護職
平成 28 年 8 月	チームリーダーキャリアアップ研修	看護師

	特養部会 生活相談員研究会	生活相談員
平成 28 年 9 月	認知症介護実践者研修	介護職
	特養部会 事務職員研修	施設長・事務職
	リハビリテーション研修	機能訓練指導員
	ケアリーダー研修	介護職
	置賜地区防災ネットワーク	業務員
	普通救急救命講習	介護職 2 名
	危険物保安講習	業務員
	就労支援セミナー	施設長
	メンタルヘルス研修	看護師
	感染症実践研修	デイ介護職
	置賜地区相談員研究会	デイ生活相談員
	接遇講習会	介護支援専門員
平成 28 年 10 月	育児・介護休業改正説明会	事務職
	特養部会 主任介護職員研修会	介護職
	特養部会 後期看護職員研修会	看護師
	高齢者介護職員研修会	介護職
	デイ生活相談員研究会定例会	デイ生活相談員
	デイサービス職員研修会	デイ介護職
平成 28 年 11 月	高齢者ケア施設看護管理者交流会	看護師
	山形県災害派遣福祉チーム員養成基礎研修	多職種 4 名
	置賜地区主任介護職員研修会	介護職
	職場のメンタルヘルス研修	施設長
	メンタルヘルス・ラインによるケア研修	事務職
	特養部会 機能訓練指導員研究会	機能訓練指導員
	若手介護職員合同交流会	介護職
	認知症実践リーダー研修	介護職
	施設の看護職員研修	看護師
	年末調整説明会	事務職
	置賜地区防災ネットワーク	業務員
	腰痛予防対策講習会	多職種 3 名
	後期デイサービスセンター職員研修会	デイ介護職
	市民公開講座	介護支援専門員
平成 28 年 12 月	労務・安全衛生管理セミナー	事務職
	置賜地区 施設長協議会	施設長
	社会福祉法人制度改革セミナー	事務職
	在宅医療研修会	介護支援専門員
	認知症介護実践者研修	G H 介護職
平成 29 年 2 月	認知症介護基礎研修	介護職

	各種助成金説明会	事務職
--	----------	-----

(3) 社会・地域貢献活動

項 目	参加人数	活動内容
北山地区清掃活動	3 名	掘り上げ清掃の協力
清掃活動ボランティア	18 名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
中川地区花いっぱい運動	全職員	花苗植栽、除草等の花壇管理
いわぶの里夏祭り	11 名	模擬店への協力
認知症サポーター研修（中川公民館にて）	29 名	研修会の共同開催

(4) 研修講師派遣

期 日	研修名	団体等	派遣職員
H28. 4. 4	認知症サポーター養成講座	南陽臨雲ロータリークラブ	佐々木利典
H28. 7. 26	〃	南陽市社会福祉協議会	〃
H28. 11. 19	〃	中川地区	〃
H29. 1. 6	〃	明治安田生命（米沢）	〃
H29. 1. 10	〃	明治安田生命（置賜）	〃
H29. 3. 8	〃	日本生命 山形南陽営業部	〃
H29. 3. 22	〃	ナウエルグループ	〃
	認知症介護実践者研修	山形県、山形県老施協	〃
	認知症介護リーダー研修	山形県	〃
	認知症介護管理者研修	山形県	〃
	介護アシスタント研修	山形県老施協	〃
H28. 10. 12	川樋地区サロン	川樋地区	勝見清美

7. 苦情受付と対応

施 設 名	特別養護老人ホームこぶし荘
受 付 日	平成 29 年 3 月 18 日
申 出 者	ご家族 （質問・要望書を文書受付）
内 容	（内容要約）①骨折した経緯 ②口腔内に残っていた物質 ③ティッシュペーパーが詰め込まれ放置された経緯 についての調査と処分
対応と経過	速やかに第三者委員に報告するとともに、施設内に調査委員会を設置し検証にあたった。また、南陽市福祉課に報告するとともに指導を仰いだ。 調査の結果、ご家族様が質問された①及び③について故意に行った事実は確認できなかった旨と、②の回答、また、無責任な職員の言動とのご指摘に対しご家族様への配慮・説明不足を心よりお詫びし、その旨文書で回答した。 なお、サービス提供におけるご家族様との信頼構築の重要性 等について改めて全職員に指導した。

8. 特別養護老人ホームこぶし荘

～ 介 護 係 ～

(1) サービス全般について

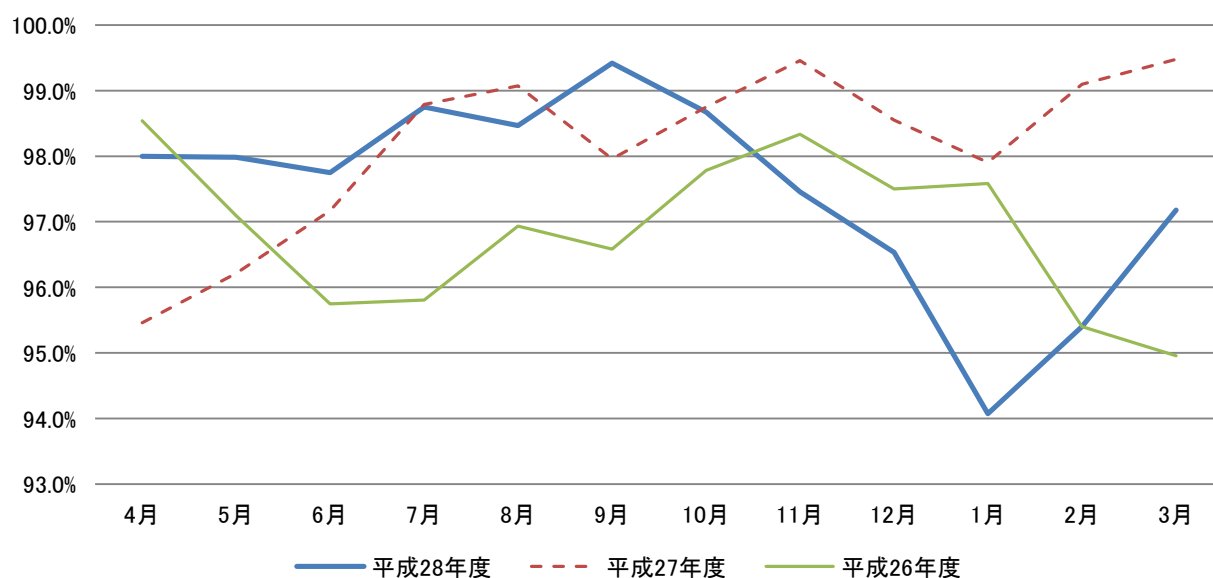
今年度は、利用者がゆっくり楽しんで食事をとれる環境づくりとして、日課検討委員会で検討を重ね、夕食提供時間を早め、食事時間帯を増やす取り組みを行った。これにより食事介助における時間の余裕が生まれ、より丁寧な介助が出来るようになった。これからも利用者に安全・安心なサービスを提供する為、一人ひとりの気持ちに寄り添った介護を目指していく。

(2) 利用状況

① 要介護度・月別

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	34人
要介護2	150	155	136	93	92	90	108	120	151	146	140	153	1,534	39人
要介護3	513	558	540	558	524	540	613	632	679	617	574	673	7,021	241人
要介護4	797	766	719	806	795	801	763	580	608	633	537	558	8,363	316人
要介護5	862	920	921	961	1,000	925	932	977	925	906	858	995	11,182	346人
合 計	2,352	2,430	2,346	2,449	2,442	2,386	2,447	2,339	2,394	2,333	2,137	2,410	28,465	976人
利用率	98.0	98.0	97.8	98.8	98.5	99.4	98.7	97.5	96.5	94.1	95.4	97.2	97.5	
平均介護度 4.0 (昨年度 3.91) ※ 平成27年度全国平均介護度 (全老協統計) 4.0														

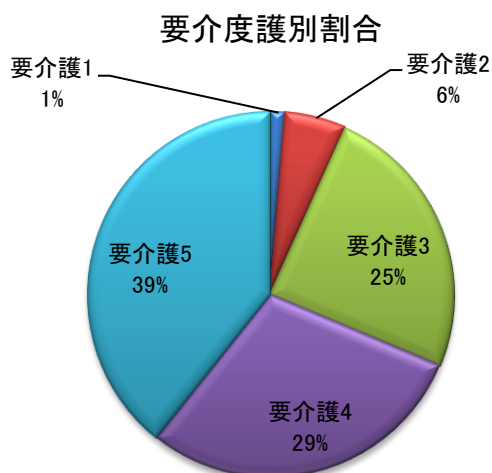
稼働率推移 (過去3年分)



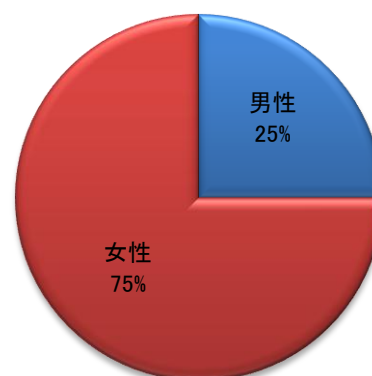
② 男女別

実人数

男性	女性	計
20人	60人	80人



男女別



平成27年度の介護保険改正により入所対象者が原則、要介護3以上となったことから、介護度が全国平均の4.0と高くなった。また、比較的介助に注意を必要とする要介護3・4の割合が5割以上となっている。

③ 市町村別

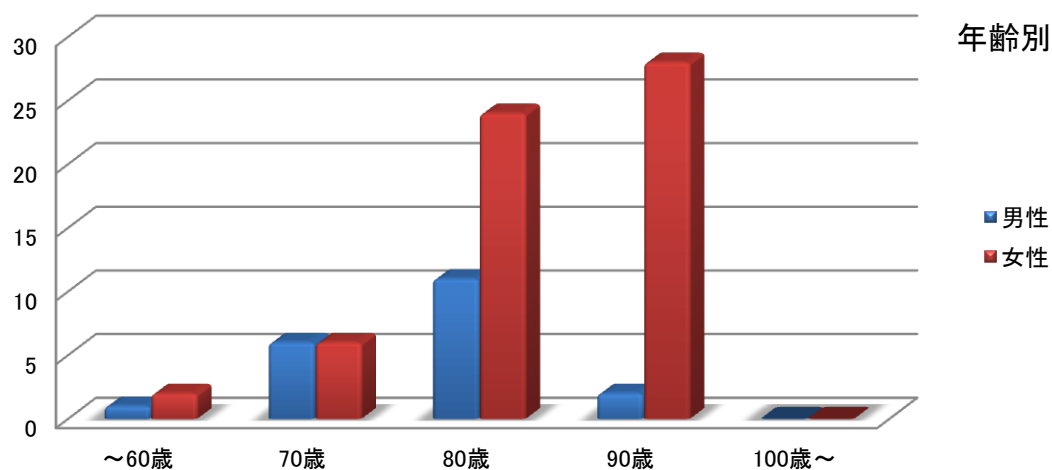
実人数

南陽市	山形市	長井市	川西町	その他	合 計
77	0	1	2	0	80

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男 性	1	6	11	2	0	82.2歳
女 性	2	6	24	28	0	87.0歳
計	3	12	35	30	0	84.0歳



現在の入所者の年齢構成は、80歳以上が81%を占めるが、ここ最近では60歳代、70歳代の方の入所や入所申込が増えてきた傾向にある。

(3) 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	8	2		10	8
女 性	16		1	17	19
計	24	2	1	27	27

死亡退所の内訳	施設	病院	その他	計
人 数	22	2		24
平均年齢	89.0	80.5		84.7

(4) 日常生活の状況

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	自力浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	4	2	59	15	38	14	28	6	74	8	72

(5) 認知症高齢者の状況

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	17	55	72
(全体に占める割合)	21.25	68.75	90.00

(6) リハビリテーション

① 個別リハビリ実施日

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週 1 回	10	6	7	7	7	37
	週 2 回	4		3	1	1	9
集団リハビリ	毎週火曜		33				33

② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等） ●起き上がり訓練 ●座位保持訓練 ●立ち上がり訓練 ●筋力訓練 ●移乗訓練 ●ROM-E X（関節稼働域訓練） ●ポジショニング ●作業活動
集団リハビリ	●歌体操 ●脳トレーニング ●回想法 など

～ 医 務 係 ～

（１）サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

（２）医 療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
大 塚 聡 嘱託医	内 科	毎週火曜日
佐 藤 忠 宏 嘱託医	精神科	毎月第 3 木曜日
佐 藤 有 弘 歯科医	歯 科	随時回診

大塚嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

歯科診療については、佐藤有弘歯科医の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族に歓迎された。

② 感染症等対策、MRSA、O-157

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	52 名	平成 28 年 7 月 8 日（金曜日）
インフルエンザワクチン	71 名	平成 28 年 11 月 15 日
肺炎球菌ワクチン	8 名	平成 29 年 1 月 31 日

- ・弱酸性次亜塩素酸水による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施

- ・ノロウイルス等対策～うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週 1 回及び随時）
- ・風邪など感染症予防のため、面会時うがい、マスク着用、手指の消毒を実施

（３）入院・退院

入院者	退院者	死亡者 入院中	入院者 継続	約 終了 による 契 長期 入院	その他
15 名	8 名	2 名	2 名	2 名	1 名

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	山形大学病院
0 名	6 名	1 名	7 名	1 名

（４）健康調査

入居者の健康管理上重要な健康状態の把握～ 毎月健康調査

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年 1 回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時大塚嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に大塚医院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者 5 2 人

（５）職員の健康管理

項 目	実施時期	実施者数	対象者
春季健康診断	5 月	4 2 名	夜勤職員及びパート職員
秋季健康診断	1 0 月～1 2 月	7 2 名	全職員（健康保険未加入者除く）
インフルエンザワクチン	1 1 月	7 8 名	全職員
ストレスチェック	6 月～ 8 月	8 7 名	全職員

今年度より、健康診断の対象者及び項目を産業医の指導のもと再検討し実施した。また、生活習慣病改善に向けて専門保健師等による個別相談の受診を奨励しながら、職員の健康管理を行った。

平成 2 8 年度のストレスチェック実施義務化に伴い、全職員を対象として、自身のストレスの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的に、大塚産業医の指導のもと実施した。

～ 給 食 係 ～

(1) サービス全般について

生活の「楽しみ」と、「生きがい」を充実させるため、内容的にカロリーやビタミン、たんぱく質等の栄養に留意しながら選択メニューなどを実施し、心身の状態にあった献立と食事作りに努めた。食事形態の刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食も取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。

また、給食委員会での意見や管理栄養士によるフロアランド等により入居者の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供に努めた。

① 適時適温食事への配慮

朝 食	昼 食	夕 食
8 : 00～	12 : 00～	17 : 50～ ※ 日課見直し前の 12 月以前は 18 : 00～

食事の提供に於いては、「温かいものは温かく」「冷たいものは冷たく」「食べやすさ」に努めた。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協同による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。スクリーニング、アセスメント、カンファレンスを行ったうえで栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行った。計画の変更があった場合は、その都度同意を得た。

項 目	単位	栄養摂取量基準値 (平成 28 年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1,603	1,521	1,303
蛋 白 質	g	53.0	55.9	50.7
脂 質	g	43.0	37.7	37.2
カ ル シ ウ ム	mg	664	741	731
鉄	mg	6.3	10.8	10.0
レチノール活性当量	μg	693	450	452
ビ タ ミ ン B1	mg	0.86	0.99	0.92
ビ タ ミ ン B2	mg	0.96	0.99	0.96
ビ タ ミ ン C	mg	100	80	81
塩 分	g	7.3	9.7	9.7

※ 日本人の食事摂取基準（2015 年版）の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。（上記表はその平均）

③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
91, 220 食	737 円

※ 給食材料の改善として、新鮮で、より良い素材の吟味、スケールメリットを生かした見直し合わせの実施で価格の安定化を図る。

（２）行事と行事食

- ① 毎月の誕生会～誕生者全員と、家族の方も参加、食事、慰問などで歓談された。誕生会には、ジュースを提供し、楽しく和やかな食事風景が見られ大いに歓迎された。また、ボランティア友の会を中心に慰問もあり歌や踊りを楽しんだ。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い提供して祝福した。
- ② 七夕、芋煮会、正月、ひな祭りなどの行事に季節感あふれる行事食を提供
- ③ 重度化により参加者は年々減少傾向にあるが、春の花見等外出も実施した。
※行事と行事食、選択メニューの内容は、p 18～19（資料１）のとおり
- ④ デイサービスにおいては、食のニーズに合わせ麺提供の日、おやつレク実施を今年度取り組んだ。

（３）衛生管理について

衛生的な食事の提供と食中毒、O-157、ノロウイルスなどの事故を未然に予防するため、重点的に次のことを心掛けた。

- ① 手指の洗浄と消毒、うがいの励行、自動手洗い器の活用
- ② 検便検査及びノロウイルス検査の実施と感染症対策、管理の徹底
- ③ 職員の体調管理の把握、身体衛生の徹底
- ④ 食品の取り扱い、器具類の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑤ 調理室、食品庫の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑥ 食事（調理済み食品）の迅速な配膳、提供
- ⑦ 厨房前室の食材洗浄用シンクを活用、調理用と区分して衛生確保を図った

（４）残食調査状況（残飯及び残菜合計）

平 均	朝	昼	夕	給食実施数
春 4～ 6 月	0.8 kg	1.1 kg	1.2 kg	83 人
夏 7～ 9 月	1.1 kg	1.4 kg	1.6 kg	83 人
秋 10～12 月	0.8 kg	1.1 kg	1.4 kg	84 人
冬 1～ 3 月	0.8 kg	1.1 kg	1.2 kg	84 人
前年通年平均	0.9 kg	1.2 kg	1.4 kg	84 人

～ 総務係・事務人事係 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会への報告・提案に努めた。

また、社会福祉法人制度改革により必置となった評議員会並びに評議員選任委員会の設置に向け、定款変更及び関連規定の整備に取り組んだ。

人材確保と育成については、専任の機能訓練指導員を配置し、サービスの充実と個別機能訓練加算を取得するとともに、正規職員登用規定による準職員から正規職員への登用及び、外部・内部研修による人材育成に努めた。

（１）監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
社会福祉法人一般指導監査	南陽市	—	今年度は実施なし
介護保険施設等実地指導	南陽市	H 29. 2. 17	対象：デイサービスセンター 指摘事項： 特になし
介護保険施設等集団指導	山形県	H 28. 7. 13	平成 28 年度指導・監査の重点事項 等
監事監査（事業・会計監査）	監 事	H 28. 5. 23	指摘事項： 特になし
外部評価	協同組合 オールインワン	H 29. 3. 2	対象：グループホーム

（２）情報公開

項 目	公開先	内 容
介護サービス情報公表	山形県（W e b）	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワークシステム	山形県（W e b）	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報
情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	W e b	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表 等
法人広報誌（市内全戸配布）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

（３）諸規定整備

規 定 名	変更内容
社会福祉法人南陽恵和会 定款	社会福祉法改正に伴う変更（評議員会の設置等） （平成 29 年 1 月 10 日認可 指令第 242 号）
給与規程	処遇改善手当の変更等

臨時職員取扱規程	臨時職員の雇用期間の変更等
正規職員登用基準	正職登用に係る規定の新設
育児・介護休業等施行細則	育児・介護休業法改正に伴う変更
苦情解決規準	苦情受付担当者の変更
消防防災計画	消防設備の設置変更に伴う変更
ストレスチェック制度実施規程	労働安全衛生法の一部改定に伴う規定の新設

（４）人材育成・確保

- ① 機能訓練指導員の専任化を目指し、作業療法士の採用を実現した。
- ② 正規職員登用制度により、介護職員２名の正規職員への転換を実施した。
- ③ 介護職員確保の為、県内の大学・短大、専門学校を訪ねを行った。
- ④ 「介護アシスタント」養成実践研修の受け入れを行い、介護アシスタント２名を採用した。
- ⑤ 入職時のオリエンテーションを実施し、法人理念・基本方針等、さらに介護サービスについての基本研修を行い、法人全体への理解を図った。
- ⑥ 職員研修についてはP 8 参照

（５）表 彰

機 関 名	人 数
山形県老人福祉施設協議会	該当者 なし
全国老人福祉施設協議会（勤続 15 年）	5 名
全国老人福祉施設協議会（勤続 20 年）	5 名
山形県社会福祉法人経営者協議会	5 名

（６）備品・設備整備

【介護・医療用品関係】

- ① 低床電動ベッド（離床センサー付）及び関連用品の追加整備
- ② エアーマット等褥瘡予防用品の追加整備
- ③ 浴室内介助手すりの交換整備
- ④ 介助用スライディングシートの新規整備
- ⑤ リハビリ食器等給食用品の補充購入
- ⑥ 回診台車の更新と吸引器等医療用機器の点検整備 等

【管理関係】

- ① コピー機（２台）の更新整備
- ② 介護用ソフト、ウイルス対策ソフトの更新整備
- ③ パソコンプリンターの更新整備 等

【設備関係】

- ① 高圧ケーブル（地中）の交換工事
- ② 防火戸制御装置（消防用設備）更新
- ③ 空調設備（エアコン）の保守修繕
- ④ グループホームテラス排水工事 等

～ 業 務 係 ～

業務員 2 名体制で 28 年を経過した建物、設備等の保守及び補修整備を行った。

また、経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、施設敷地内の環境整備作業や敷地外の作業も一部行った。

さらに、平成 29 年度の空調設備の大規模修繕に向けた事業の検討を各係と連携し推進した。

（１）主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として花物を植えた	いちょうの家
2	外周管理	D S C 法面の調査、管理	
		芝生の除草、施肥、芝刈り等	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理	
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理	
		案内看板の維持管理	
3	建物管理	月次内部定期点検による管理	
4	温水発生器（ボイラー）及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定の実施 床下配管の定期点検	平成 17 年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査	水利組合立会いによるこぶし荘敷地外污水配管の確認
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	
7	S P 用非常発電機保守管理	メンテナンス整備	
8	地下油槽保守管理	年 1 回の漏洩検査を実施	消防法
9	暖房・湿度管理	エアコンの修理 加湿器の設置管理	弱酸性次亜塩素酸水の活用
10	電気設備定期点検	毎月 1 回定期点検、年 1 回総合点検 高圧地中ケーブル交換	
11	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	消耗部品の交換	1998 年度「国県補助事業」

12	屋上ヒーター保守管理	春と秋の清掃、管理	
13	水道関係保守管理	厨房自動水栓修理	
14	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	
15	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取（異常なし）	
16	荘内清掃	清掃員による週4日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業	
17	公用車の管理	「日本財団」リフトバス2台、 「24時間テレビ」リフトバス、 「日自振」リフトバス、 「競馬財団」スロープ付軽自動車 等公用車の積極的な活用及び管理	2003及び2006年度「日本財団」福祉車両助成事業 平成18年度「24時間TV」寄贈 平成19年度日本自転車振興会補助事業 平成25年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
18	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の保守管理 車いす入浴装置の保守管理	2001年度国県補助事業 平成17年度郵政公社年賀寄附金配分事業

（２）防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成18年12月30日	川樋地区長（こぶし荘防災協力会会長）
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成20年7月8日	置賜地区老人福祉施設長 連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び 使用に関する協定書	平成28年2月15日	南陽市長

9. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイは、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか（介護者の介護負担軽減と休養）、専任職員を配置し、多様なニーズとケアマネジャー・家族との細やかな調整に心がけた。

また、毎月ショートステイ委員会を開催し、リスク検証を行いながら安全・安心な利用を目指した。その結果、6・7・8月を除く月は、利用者の増加傾向がみられ、利用者も楽しみにショートステイを利用して頂いた。今後もサービスの充実を図り、利用者・家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

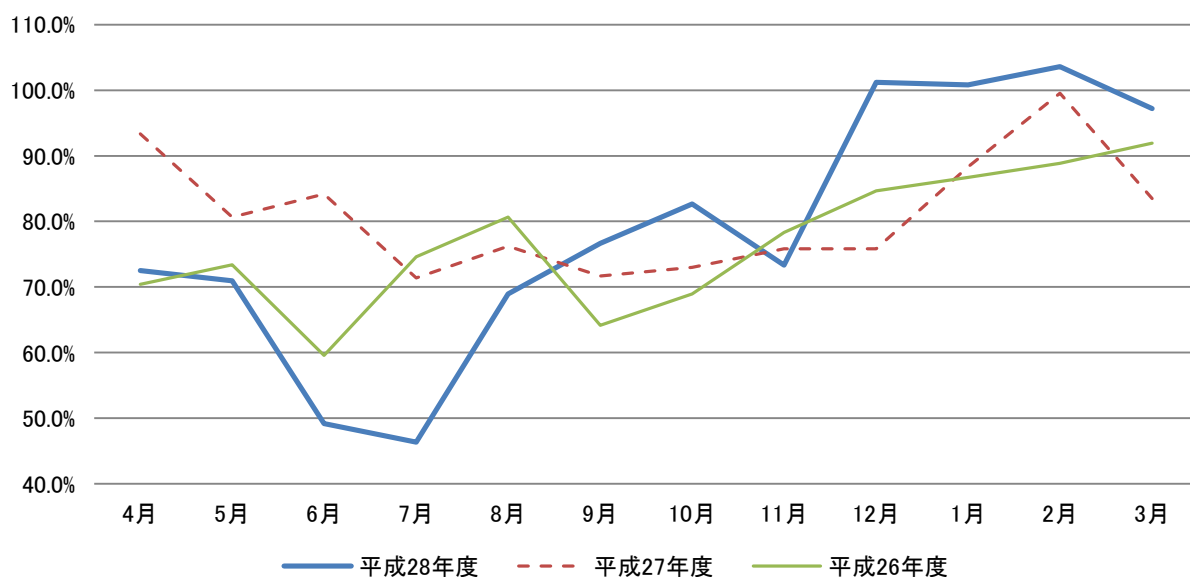
(2) 利用状況

① 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	174	176	118	115	172	184	205
稼働率	72.5%	71.0%	49.2%	46.4%	69.4%	76.7%	82.7%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用延べ人数	176	253	250	234	236	2, 293人	
稼働率	73.3%	102.0%	100.8%	104.5%	95.6%	78.5%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
平成28年度	2,293人	191.1人	78.5%	3.5
平成27年度	2,364人	197.0人	81.0%	3.1

稼働率推移(過去3年分)



冬季間の長期利用者により、12～3月は、入院者の空ベッドも利用しながら100%を超える、またそれに近い実績であった。毎年6～7月は利用者が減少する傾向にあり、今年度もその傾向がみられた。しかし、8月以降は新規利用者の増加と定期的な利用に結びつき、少しずつではあるが利用増に繋がった。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	0	9	6	14	10	7	46

③ 男女別

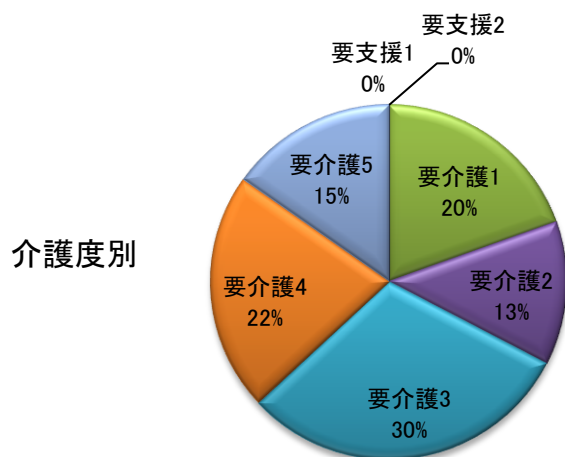
実人数

男性	女性	合計
13人	33人	46人

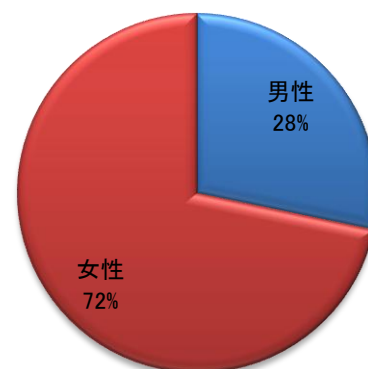
④ 地区別

実人数

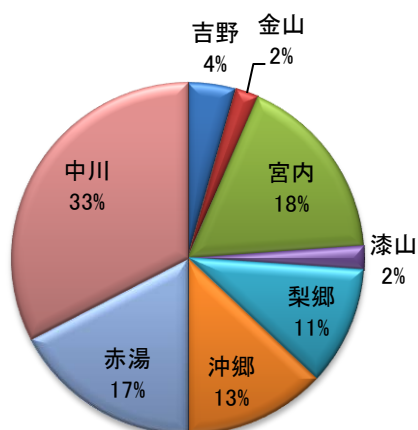
吉野	金山	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	合計
2	1	8	1	5	6	8	15	46



男女別



地区別



(資料 1)

平成 2 8 年度行事と行事食

月	日	行 事 内 容	行 事 食
4 月	1 日	開 荘 記 念 日	赤飯、清汁、刺身盛合せ、じゃが芋といんげん煮、かぶ漬け、キウイフルーツ
	25 日	お 花 見	ちらし寿司、豚汁風煮、茎立浸し、ゼリー
	28 日	誕 生 会	筍ご飯、清汁、かつおたたき、うどん煮、キャベツ漬け、みかん缶
5 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	26 日	誕 生 会	枝豆ご飯、清汁、刺身盛りあわせ、わらびの煮物、かぶ一夜漬け、プリン
6 月	1 日	変わりご飯の日	生姜ご飯
	30 日	誕 生 会	穴子ちらし寿司、みそ汁、かぶと昆布煮、胡瓜漬け、プリン
7 月	1 日	変わりご飯の日	枝豆とみょうがご飯
	28 日	誕 生 会	うなぎせいろ蒸し風、清汁、いんげん煮、かぶ甘酢漬け、メロン
8 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	25 日	誕 生 会	菜めしご飯、清汁、天ぷら、茶碗蒸し、胡瓜漬け、プリン
9 月	1 日	変わりご飯の日	栗ごはん
	17 日	敬 老 会	赤飯、清汁、ぎんたら照り焼き、炊合せ、おろし酢和え、ミルクプリン、紅白饅頭
	21 日	秋 彼 岸	おはぎ 4 種、牛乳、白菜五目煮、みかん缶
	29 日	誕 生 会	枝豆ご飯、清汁、鮭の塩糀焼き、あけび味噌焼き、三五八漬け、フルーツ缶
10 月	1 日	変わりご飯の日	松茸ご飯
	13 日	い も 煮 会	おにぎり、いも煮、菊とほうれん草浸し、ヨーグルト
	27 日	誕 生 会	さつまいもご飯、みそ汁、刺身盛合せ、かぶと昆布煮、三五八漬け、ブルーチェ
11 月	1 日	変わりご飯の日	まいたけご飯
	26 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛合せ、茶碗蒸し、三五八漬け、ラフランス
12 月	1 日	変わりご飯の日	あさりご飯
	17 日	誕 生 会	菊花ちらし寿司、粕汁、なめらか高野豆腐煮、ほうれん草胡麻和え、ごまプリン
	21 日	冬 至	冬至南瓜
	26 日	ク リ ス マ ス 会	ピラフ、南瓜スープ、煮込みハンバーグ、ブロッコリーサラダ、フルーツポンチ
	28 日	年 越 し そ ば	てんぷらそば
1 月	1～3 日	お せ ち 料 理	赤飯、ひょう干し煮、伊達巻、いか数の子、棒だら煮、冷汁、炒り鶏、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、だいだいムース、紅白なます、きんとん、ブリ照り焼き、鯉煮、とろろ
	7 日	七 草 粥	七草粥
	26 日	誕 生 会	変わりご飯、清汁、エビフライ、浅葱味噌和え、かぶ甘酢漬け、いちごプリン
2 月	1 日	変 わ り ご 飯	菜飯ご飯
	3 日	節 分 の 日	ちらし寿司、清汁、五目豆、いわしおかか煮、いちご
	14 日	バレンタインデー	チョコプリン
	23 日	誕 生 会	ゆかりご飯、清汁、刺身盛合せ、根菜と鶏肉煮、茶碗蒸し、ブルーチェ
3 月	1 日	変わりご飯の日	ホタテご飯
	3 日	ひ な 祭 り	ちらし寿司、清汁、筍とふき煮、菜の花辛子和え、白桃缶
	17 日	春 の 彼 岸	ぼたもち、おろし和え、白桃缶、牛乳
	31 日	誕 生 会	わかめご飯、清汁、さしみ盛合せ、うどと生揚げ煮、かぶ漬け、いちご

平成 2 8 年度選択メニュー

月	日	メ ニ ュ ー	
4 月	14 日	煮込みハンバーグ・ごはん	スパゲッティナポリタン
	21 日	ごはん・キスの天ぷら	うどん・キスの天ぷら
5 月	12 日	ロールキャベツ	ミートソーススパゲッティ
	19 日	ごはん・茄子と豚みそ炒め	山菜そば
6 月	9 日	ごはん・コロッケ	焼きそば
	16 日	ごはん・和風ムニエル	たらこスパゲッティ
7 月	7 日	ごはん・唐揚げおろし煮	七夕そうめん
	14 日	ごはん・エビフライ	ラーメン
8 月	4 日	ごはん・焼肉	冷し中華
	18 日	ごはん・千草焼	ねばねばぶっかけ麺
9 月	8 日	ごはん・肉豆腐	きのこそば
10 月	6 日	ごはん・八宝菜	月見うどん
11 月	17 日	ごはん・煮込みハンバーグ	ラーメン
12 月	8 日	ごはん・八宝菜	味噌ラーメン
	28 日	ごはん・天ぷら	そば・天ぷら
1 月	12 日	ごはん・みそおでん	うどん
	19 日	ごはん・すき焼き風	ラーメン
2 月	9 日	ごはん・石狩煮	焼きそば
	16 日	ごはん・和風ハンバーグ	にしんそば
3 月	9 日	ごはん・チキンカツ	ミートソーススパゲッティ
	16 日	ごはん・豚のせんぎり炒め	ラーメン

10. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総 括

1. 利用状況

地域密着型通所介護へ移行となり、利用者サービスのより一層の向上を図り月曜～土曜日の週6日営業を実施するとともに新規利用者獲得に力を入れた。

2. 職員研修

各種研修会への積極的参加を図り、職員の資質の向上及び処遇技術の向上に努めた。
また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ H28年度 県デイサービスセンター部会職員研修会	1	1
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会（総会）	1	1
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会（定例会）	1	1
◇ 介護保険施設実地指導	1	1
◇ 高齢者福祉施設新任職員研修	1	1
◇ 置賜地区デイサービスセンター生活相談員研究会	1	1
◇ 感染症実践研修	1	1
◇ 危険物保安講習（危険物取扱者）	1	1

(2) 利用実績

① 実人員（性別、利用別）

介護度	要介護					総合事業		介護予防		計
	1	2	3	4	5	通1	通2	支1	支2	
男性	4	4	2	4	0	1	2	1	1	19
女性	18	7	11	3	1	2	3	1	2	48
計	22	11	13	7	1	3	5	2	3	67

② 地区別

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	1	0	2	11	1	1	0	2	1	0	0
女性	5	0	3	27	0	7	0	1	5	0	0
計	6	0	5	38	1	8	0	3	6	0	0

③ 入浴別

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
17	49	1	0	0

④ 利用状態別

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	その他
51	5	2	4	4	1

地区別利用者割合は地元が半数を超えており、次いで市内の施設からとなっている。又、他事業者が避ける遠隔地地区であった。

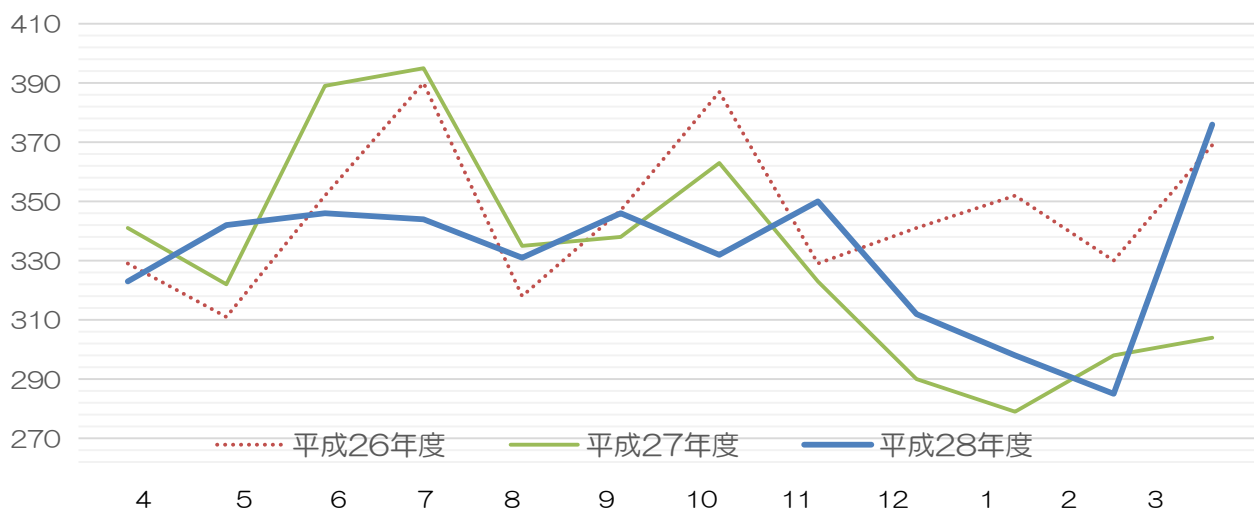
介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で50%を占めている。要介護3は全体の20パーセント。要介護5は0%であり要介護4の割合も少なくなっている。入所指針の変更が影響していると考えられる。年間を通し80%程の方が継続しご利用。入所等による利用終了が10%程となっている。※休止中の内訳：冬季SS利用に変更、及び別サービスに移行された方。

⑤ 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営 業 日	25	26	26	26	25	26	26
要介護	270	281	275	275	268	276	262
総 合	0	0	0	0	0	0	0
予 防	53	61	71	69	63	70	70
利用者計	323	342	346	344	331	346	332
利 用 率	90.9%	89.6%	90.7%	92.5%	88.2%	90.7%	89.3%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
営 業 日	26	24	24	24	27	305 日	
要介護	273	260	247	229	309	3225 人	
総 合	13	12	32	36	43	136 人	
予 防	64	40	19	20	24	624 人	
利用者計	350	312	298	285	376	3985 人	
利 用 率	91.7%	100.5%	96.0%	91.8%	94.5%	92.2 %	

※利用率は目標値にて算定。定員の90%（12月～2月は80%）に設定

月別・年度別利用状況（過去3年分）



(3) 利用者日課と行事

時 間	利用者の活動	業務内容
08:30		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備
08:50		送迎バス出発・乗車介助・宅内介助
09:50	送迎バス到着	受け入れ・連絡帳確認及び記入
10:30	健康チェック・茶話会 入浴・個別リハ、レクリエーション活動	ミーティング・バイタルチェック 入浴介助(介助浴・特別浴)・浴室清掃
12:00	入浴終了 昼 食	昼食準備・配膳 食事介助（昼当番） 口腔ケア・排泄介助・移動介助
13:00	休 養	連絡帳、日誌類記入
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・レク準備
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導
15:00	手作りおやつ 茶和会 帰宅準備・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 連絡帳配布・相談等・記録（データ入力） 送迎準備
15:45	帰宅準備	排泄介助
16:00	送迎出発	送迎介助
17:10		送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）
17:30		退 勤

月 別 行 事 実 績			
4月	・桜花見・季節のおやつ作り	10月	・秋祭り・災害避難訓練・ビデオ体操
5月	・体力測定・ゆったりティータイム	11月	・俳句・短歌
6月	・災害避難訓練 ・ゆったりティータイム	12月	・クリスマス会・季節のおやつ作り ・ゆったりティータイム
7月	・季節のおやつ作り	1月	・書き初め・体力測定・季節のおやつ作り
8月	・ゆったりティータイム・体力測定	2月	・節分豆まき・ゆったりティータイム
9月	・体力測定・野外芋煮会	3月	・雛祭り会・お彼岸・季節のおやつ作り

(4) 運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月24日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月22日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

(5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- ◇ 防火管理者 近野 生活相談員兼介護福祉士 (DSC)
- ◇ 消防防災設備定期点検 9月15日、3月16日
- ◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし
- ◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 4月、9月分
- ◇ 夜間非常通報訓練 12月18日一斉メール、電話で実施
- ◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練2回
5月30日 通報、避難誘導、初期消火訓練
(第1回) こぶし荘合同 重点項目：消火器訓練、救急救命訓練、地震対応
10月28日
(第2回) こぶし荘 重点項目：図上訓練
- ◇ 協力依頼 ～ 南陽消防署、地区消防団、北山地区住民、防災設備会社

(6) 施設管理、環境整備

- ① 緊急避難場所用芝生及び植栽管理～除草、施肥
- ② プレハブ倉庫の管理～介護用品、季節用品などの整備、保管
- ③ リフトバスの補修整備 (車検整備1台)
- ④ 床下ピット内排水作業 (随時)、床ワックス施工 (2回)
- ⑤ センター外周側溝清掃 (随時)
- ⑥ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理、修理
- ⑦ 浄化槽の保守管理 (排水ポンプ制御設備増設)
- ⑧ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑨ 除雪機の整備及び保守管理、駐車場整備
- ⑩ 特浴槽の保守整備
- ⑪ 網戸補修

11. こぶし荘在宅介護支援センター

(1) 総 括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

また、地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図るため、川樋地区いきいきサロンの出前講座への参加、更には認知症サポーター養成講座を共同開催し、グループホーム管理者の協力のもと事業普及に努めた。

今年度のサービス利用実績は、前年度比プラス実績ではあったが、年度途中の管理者の退職・交代により利用者が減少したため、次年度も適正な利用者確保に向け取り組む。

(2) 利用実績

① 在宅支援事業

1) 業務別件数

項目	件 数
1. 福祉用具展示	有り
2. 相談延べ人数	4, 917 人
3. 訪問延べ人数	1, 470 人
4. 連絡調整	2, 912 件
5. 手続き代行	11 件
6. 通院送迎介助	7 件
7. 介護用品斡旋注文	6 件

2) 相談内容別件数（延べ）

相 談 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 介護相談	125	106	150	117	152	129	102	141	163	137	150	95	1, 567
2. 健康相談	6	5	4	12	10	11	18	14	8	2	7	8	105
3. 医療相談	64	41	39	28	24	17	17	50	15	23	45	14	377
4. ホームヘルパー	34	39	30	42	36	32	38	49	46	54	42	65	507
5. デイサービス	47	49	46	22	57	51	56	54	59	68	51	63	623
6. ショートステイ	24	27	25	18	36	22	29	27	23	31	32	33	327
7. リハビリ	0	4	6	4	1	3	4	2	3	0	1	4	32
8. デイケア	10	9	6	4	11	14	17	13	15	5	11	11	126
9. 福祉介護用品	40	32	25	24	34	42	27	47	38	16	33	20	378
10. 住宅改修	8	10	14	10	14	10	1	0	0	0	1	4	72
11. 施設入所関係	7	11	21	8	2	0	12	3	7	1	2	8	82

12. 訪問入浴	16	6	3	1	3	6	8	4	3	2	3	4	59
13. 保健福祉関係	7	8	12	9	6	13	7	7	3	5	3	4	84
14. 訪問看護	11	8	12	6	25	18	10	23	18	12	18	8	169
15. その他	2	2	3	0	4	5	3	1	2	4	2	38	66
合 計	401	357	396	305	415	373	349	435	403	360	401	379	4,574

② 居宅介護支援事業

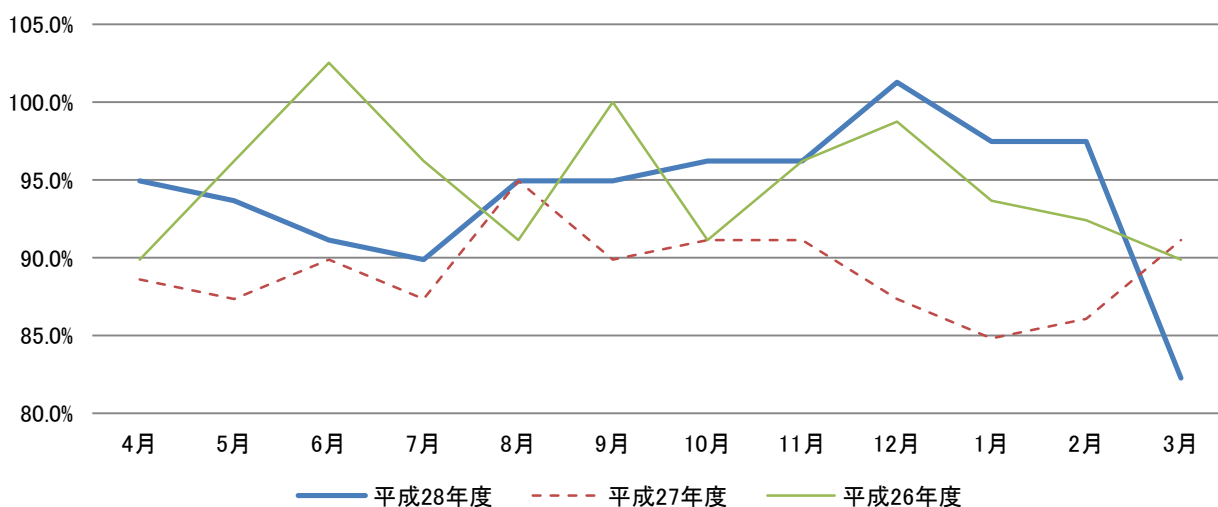
1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	59	56	54	53	58	58	58	58	63	60	59	47	683
予防給付	16	16	18	18	17	17	18	18	17	17	18	18	208

2) 移動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 新規相談	1	0	0	1	1	3	0	0	3	2	1	2	14
2. 保険外相談	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
3. 入所	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
4. 入院	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
5. 死亡	0	0	0	0	2	0	3	0	1	1	0	2	9
ケアマネ依頼	1	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0	2	11

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1) 総 括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。四季折々に地元住民と様々な交流の機会を設けることや、職員の認知症ケアに関するスキルアップは今後も継続して実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

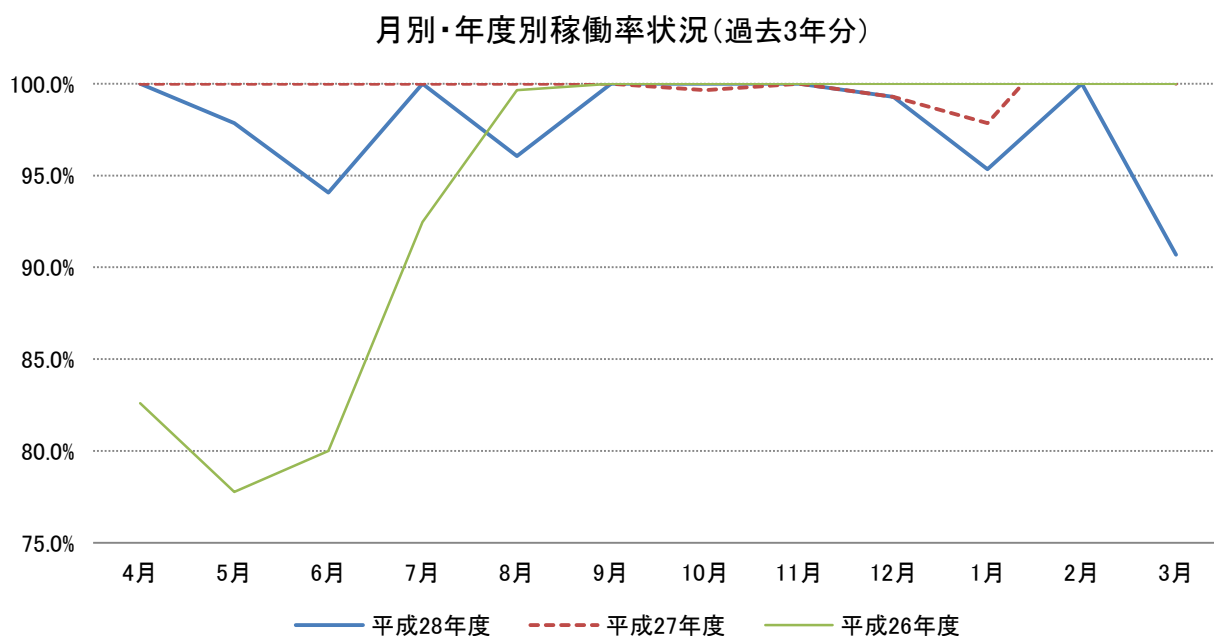
区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
	要介護 1	120	93	74	93	93	90	62
	要介護 2	30	56	60	62	71	90	124
	要介護 3	60	62	60	62	62	60	62
	要介護 4	60	62	60	62	42	30	31
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0
利用者計		270	273	254	279	268	270	279
利用率		100%	97.8%	94.1%	100%	96.1%	100%	100%
入院・外泊		0	6	4	0	0	0	0
区分		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
	要介護 1	60	62	62	56	62	9 2 7	
	要介護 2	120	124	136	140	129	1, 1 4 2	
	要介護 3	60	64	68	56	62	7 3 8	
	要介護 4	30	27	0	0	0	4 0 4	
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	
利用者計		270	277	266	252	253	3, 2 1 1	
利用率		100%	99.3%	95.3%	100%	90.7%	9 7. 7 %	
入院・外泊		0	0	1	0	0	1 1	

② 年齢別

区分	～60 歳台	70 歳台	80 歳台	90 歳台	100 歳以上	平均
男 性	0	1	1	2	0	8 5.50
女 性	0	0	7	3	0	8 8.00
計	0	1	8	5	0	8 6.75

③ 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	0	1	0	1	3
女 性	1	1	2	4	2
計	1	2	2	5	5



平均介護度は2.2で、要介護1、2の認知症高齢者へのケアが課題とされる。また、重度化、緊急時対応頻度が増え、入院、退所が増加した。

(3) 利用者サービスと日課

利用者の日々は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、利用者のペースとどう暮らしたいかの思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであること、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が安心して地域で暮らせる力となっている実感がある。地域行事への積極的参加や趣味活動、得意分野を活かした取り組みは利用者の笑顔からその答えを頂いている。今後も利用者主体のゆったりとした時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つけれられるサポート役になっていきたい。

	一日の流れ（日課表）
6 : 0 0	起床、洗面、着衣交換
7 : 0 0	朝食準備
8 : 0 0	朝食、後片付け
9 : 0 0	清掃、洗濯物畳み（前日の入浴時の物）、洗濯（起床～朝食時の物）
1 0 : 0 0	健康管理チェック、入浴、レクリエーション 等
1 0 : 3 0	お茶
1 1 : 0 0	昼食準備、
1 2 : 0 0	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
1 3 : 3 0	休 憩
1 4 : 3 0	レクリエーション、お茶、健康管理チェック 等
1 6 : 0 0	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）
1 7 : 3 0	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
1 9 : 0 0	だんらん
1 9 : 3 0	服薬、就寝準備
2 0 : 0 0	就 寝

（４）地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
4月20日	バスハイク（烏帽子山公園 桜祭り）
6月 3日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
7月 6日	笹巻作り ご家族、地域の方との交流
7月19日	語り部会（朝倉喜美子様） 荘、D S C利用者にも案内
8月 6日	佐藤病院夏祭り 川樋地区子ども神輿来荘
8月12日	いわぶの里夏祭り
8月19日	こぶし荘D S C利用者との交流会（D S Cにて）
9月10日	中川小学校運動会
9月17日	こぶし荘敬老会
9月23日	バスハイク（上山市 かかし祭り）
10月22日	こぶし荘秋祭り
10月28日	バスハイク（南陽菊祭り）
11月 3日	中川地区文化祭（中川小学校）
11月12日	いわぶっ子フェスティバル（中川小学校）
11月13日	中川地区芸能フェスティバル（中川公民館）

(5) 運営推進会議

地域密着型サービスへの市民感覚の受入れと意見を尊重して、より良い介護を行うため、2カ月に1回、計6回開催した。

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月24日	4	3	入居者状況、28年度委員・細則、事業計画 他
7月19日	4	3	入居者状況、家族交流・地域交流 他
9月20日	4	3	入居者状況、防災対策、環境整備・修繕 他
11月22日	4	3	入居者状況、感染症対策、役員改選、職員研修 他
1月24日	3	3	入居者状況、介護アシスタント採用 他
3月15日	4	3	入居者状況、事業計画総括 他

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。第1回訓練では、グループホームを火元に想定した訓練を行った。

- ・ 5月28日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月 2日 第2回総合防災訓練
- ・ 12月14日 非常通報訓練

(7) 建物・設備管理

- ・洗濯機買い替え（1台） 5月26日
- ・テラス側カーテン、玄関カーテン買い替え 6月29日
- ・テラス排水工事 非常時用土嚢新設 7月19日
- ・玄関扉修理 8月25日
- ・エアコン修理 10月 1日
- ・ワックス清掃 10月12日
- ・洗濯機買い替え（1台） 11月 3日
- ・コピー機買い替え（1台） 12月12日
- ・食器洗浄乾燥機修理 12月15日
- ・事務室カーテン買い替え 12月15日
- ・エアコン修理 3月 1日

(8) 外部評価・情報公表

介護保険法が定める「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」に基づき、理念の実践や介護サービスと職員の資質向上を目的として外部評価を実施した。

- ・評価機関名 : 協同組合 オール・イン・ワン
- ・訪問調査実施日 : 平成29年3月 2日
- ・評価結果決定日 : 平成29年3月13日

※WAMNETでの公表は平成29年3月30日より掲載

また、管轄連携機関等から基準に則った評価を受ける機会や、制度下での市民への情報開示を行う機会にも真摯に対応出来た。今後も更に開かれた施設作りに取り組みたい。